



2026年5月8日

各 位

会社名 株式会社 RYODEN  
代表者名 取締役社長 富澤 克行  
(コード番号 8084 東証プライム)  
問合せ先 総務部長 岡村 幸三郎  
(TEL 03-5396-6111)

## 配当方針の変更（累進配当の導入）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当方針の変更について下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当方針変更の理由

当社は、持続的な企業価値の向上と共に株主の皆さまに対する継続的かつ安定的な利益配分を経営の最重要施策の一つとして位置づけ、配当水準の向上と安定化に努めてまいりました。

中長期経営計画「ONE RYODEN Growth 2029 | 2034」における財務戦略の柱は、経営資源の最適化による成長循環の加速です。

そのため、計画期間の5年間で「成長投資 250～350 億円」「株主還元 170 億円以上」の資源配分を計画しており、昨年度の配当方針変更による還元拡充に加え、技術や人材、事業への積極的な投資を継続し、収益性の向上と中長期的な価値創造を推進しています。

今般、財務規律に基づいたバランスシートの最適化を加速させるため、還元目標を一段高い水準へ再設定することといたしました。具体的には、資本効率（ROE）の向上を意識した適正な自己資本水準へのコントロールと、株主還元のさらなる充実を両立させるべく、「累進配当」を導入するとともに、現中長期経営計画の最終年度までに連結株主資本配当率（DOE）4.5%以上の実現を目指すという、新たな到達目標を追加いたしました。

#### 2. 配当方針の内容

##### （変更前）

当社グループは、財務の健全性を堅持するとともに中長期的な企業価値向上に向けた成長投資と株主各位への適正な利益還元を実施してまいります。

株主還元につきましては、短期的な業績に連動させず、中長期的かつ安定的に強化・拡充を図る方針であり、連結総還元性向 50%又は連結株主資本配当率（DOE）3.5%を下限として剰余金の配当を実施いたします。

また、自己株式の取得につきましても、株価の動向や財務状況を勘案のうえ実施する予定です。

（以下本頁余白）

(変更後)

当社グループは、財務の健全性を堅持するとともに中長期的な企業価値向上に向けた成長投資と株主各位への適正な利益還元を実施してまいります。

株主還元につきましては、短期的な業績に連動させず、中長期的かつ安定的に強化・拡充を図る方針であり、その還元姿勢として「累進配当（減配を行わず配当水準を維持または増配する方針）」を採用いたします。

具体的には、現中長期経営計画の期間中（2025年度～2029年度）に、連結株主資本配当率（DOE）4.5%以上の実現を目標として剰余金の配当を実施いたします。

また、自己株式の取得につきましても、株価の動向や財務状況を勘案のうえ実施する予定です。

※連結株主資本配当率（DOE）＝（年間配当総額÷連結株主資本）×100

### 3. 変更の時期

2027年3月期より適用致します。

(ご参考)

	1株当たり配当金			(参考) 連結株主資本配当率
	第2四半期末	期末	合計	
2026年3月期	68円00銭	70円00銭 (予想)	138円00銭 (予想)	3.5%
2027年3月期 (予想)	75円00銭	75円00銭	150円00銭	3.8%

以上